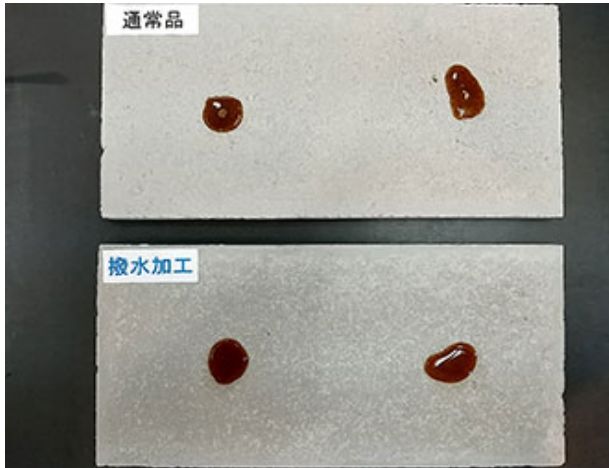


軽量コンクリートブロック風タイル 撥水加工(実験)

軽量コンクリートブロック風タイルに撥水加工を施し、通常品と撥水加工品で汚れの落ち具合にどのような違いが出るか実験しました。



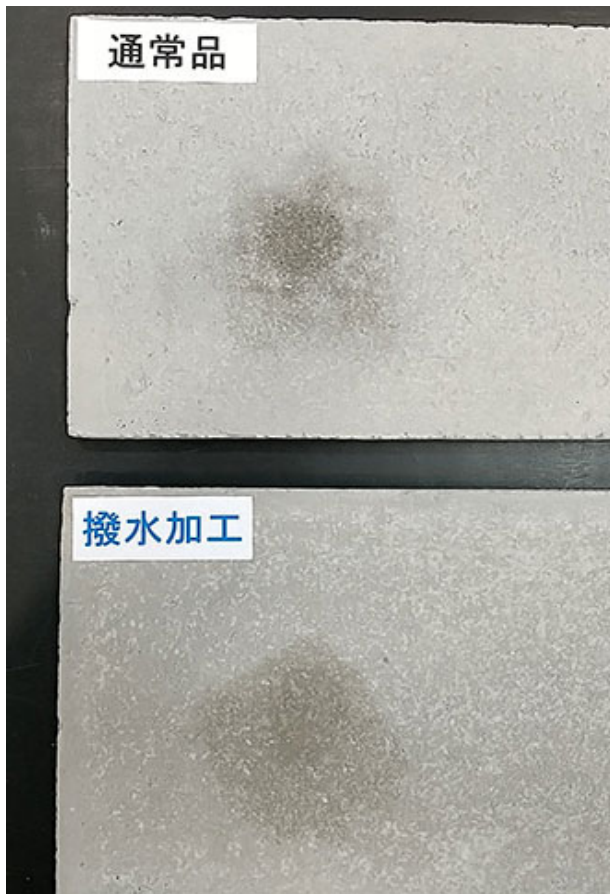
今回汚れの元として使用するのはブラックコーヒーです。



通常品、撥水加工品それぞれにティースプーン1杯程度コーヒーをこぼしました。左は直後、右は30分後にふき取ります。ふき取りの際は水を多めに含んだふきんを使用します。

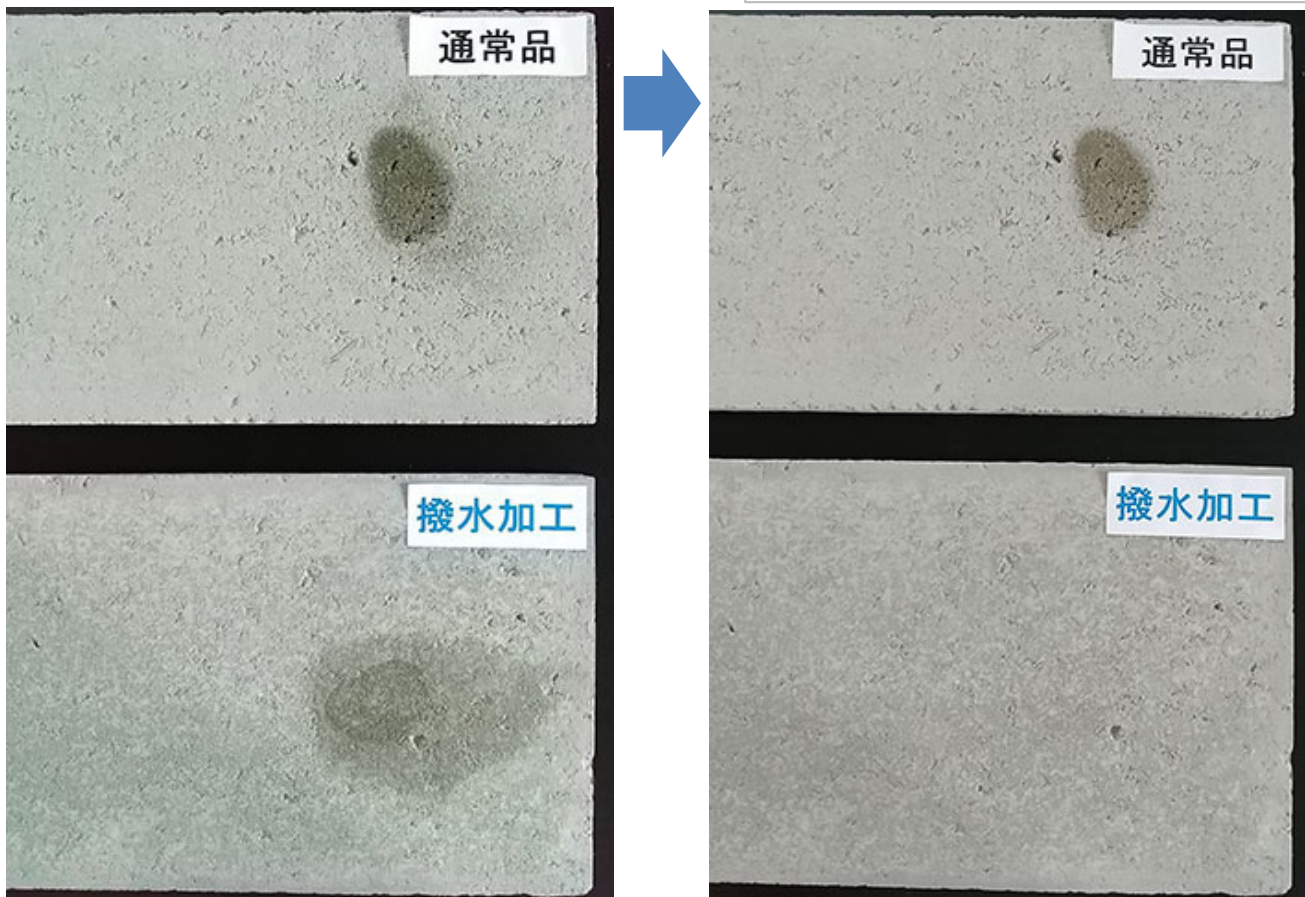
汚れをすぐにふき取ります。画像はふき取り直後の状態です。

ふき取って30分後の状態です。通常品は薄いシミが残りますが、撥水加工品はどこに汚れがあったか判別できないぐらいになりました。



今度は30分置いて汚れをふき取りました。
画像はふき取り直後の状態です。

ふき取って30分後の状態です。通常品は濃
いシミが残り、撥水加工品はごく薄いシミが
残る程度です。(画像でははっきり分からな
いかもしれませんが、殆ど目立たない程度
のシミが残っています)



以上より、通常品と撥水加工品では汚れの落ち具合に大きな差が出ました。また、汚れが付着した際は時間をおかずにすぐにふき取ることで汚れが目立たなくなります。

但し、撥水加工品にも欠点があり、撥水加工することでタイル表面の色味が若干変わってしまうことです。通常品よりも色が濃くなり多少ムラが出ます。

今回撥水加工に使用したのは「アクアシール200S」です。1回塗りしています。

気になる方はサンプル品で試してみてください。(法人様の場合、必要であれば2枚まで無料でサンプルを提供します。)